

CASBEE[®]さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレシス大宮土呂	階数	地上6F
建設地	埼玉県さいたま市北区土呂町1丁目30-2 外3棟	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	280 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2017年12月13日
敷地面積	2,154 m ²	作成者	㈱光和設計
建築面積	1,048 m ²	確認日	2017年12月13日
延床面積	4,961 m ²	確認者	青木



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 84% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 84% (46 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 84% (46 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	耐久性、設備の更新に考慮した共同住宅を目指しました。	その他 0
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建材を使用し、室内環境の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 標準的な配慮を行っている。
LR1 エネルギー	標準的な配慮を行っている。	LR3 敷地外環境 ごみ置場を設置し、ごみの分別に強化。敷地内に駐車場・駐輪場・バイク置場等を整備することで、敷地周辺の交通負荷の抑制を考慮した。
Q2 サービス性能	躯体材料について、住宅性能評価における劣化対策等級3としている。	
LR2 資源・マテリアル	GL工法を採用し、その他についても標準的な配慮を行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される